

刑 事 資 料

取 扱 注 意

所 属 備 付 用

実 務

刑 法 (上)

警 視 庁 刑 事 部

## 発刊のことば

犯罪史上、類をみないオウム真理教に係る一連の凶悪事件の発生をはじめ、一般人を対象とした銃器使用の凶悪事件、金融・不良債権関連事犯、来日外国人犯罪の増加など、警察を取り巻く環境は、片時も予断を許さない情勢にあるといっても過言ではない。

また、21世紀への幕明けを目前に控え、科学の進歩とともに我々の想像を超える新型犯罪の発生も大いに懸念されるほか、約10年後には、大量のベテラン捜査官が次々と退職する時代を迎えることから、後を継ぐ捜査官が自らの捜査能力を向上させ、組織全体の事案処理能力、取り分け、刑事警察においては現場執行力を高める努力をすることが強く求められている。

いうまでもなく、治安の任に当たる我々には、こうした予想される捜査環境の悪化に憶することなく、自らの知と技を磨き、敢然と犯罪に立ち向かい、社会生活の安寧を確保するという崇高な使命が課せられている。

そのためにも、先人の優れた技を伝承することはもちろん、捜査官一人一人が自らの能力を高める努力を継続することが肝要である。このような視点から、このたび本書を発刊することとした。

本書を活用し、現在及び将来において現場執行力を更に向上させるなどして捜査の万全を期していただきたい。

平成9年1月

警視庁刑事部長

石川重明

## は し が き

いわゆる「青表紙」の愛称で親しまれている当課発行の実務資料は、昭和44年に第1巻を発行して以来、平成7年発行の「刑法犯捜査」に至るまで実に31巻に及んでおり、刑事警察官のみならず数多くの警察官の実務手引書として広く活用されているところであります。

本書は、昭和62年に発行した「刑法（上）」に加筆・補正を加えるとともに、昭和61年から平成8年までに質疑回答に登載した質疑事例を取捨選択して、刑法総則及び各罪のうちの第24章（礼拝所及び墳墓に関する罪）までを収録しております。

我々が取り扱う刑法犯の態様は、実に千差万別ですが、本書の事例は、実際に第一線から当課に寄せられた質疑を基に作成されていることから、今後、類似の事犯を擬律する上で大いに参考になると思われま

す。もとより、犯罪は定められた構成要件を充足してはじめて成立するものですから、法律のプロである裁判官や検察官でさえ、その都度「六法全書」を確認すると言われてい

ます。事例と類似の事犯を擬律するに当たっては、捜査に従事する者はもとより、全警察官が本書を座右に置いて大いに活用していただき、「職人立国警視庁」を築き上げていただきたいと思います。

平成9年1月

警視庁刑事部刑事総務課長

石川幸三

## 目次

## 刑法〔上〕

## 第1編 総則

## 第1章 通則

## 1 国内犯

- 〔事例〕1 外国で外国人から傷害を受けた日本人が帰国してから死亡した場合は国内犯となるか…………… (1)
- 2 けん銃の密輸が入国手続の際に発覚した場合の刑責と、それを外国において幫助した外国人に対して国内法を適用することの可否…………… (3)
- 3 外国で主催される賭博に日本から国際電話をかけて賭客として加わった者に対して我が国の刑法を適用することの可否…………… (6)
- 4 日本国内で行われた犯罪の幫助行為が外国で行われた場合における幫助犯に対する国内法の適用の可否…………… (7)

## 2 国民の国外犯

- 〔事例〕1 外国で行われた日本人による殺人事件について、日本の警察が捜査権を行使できる根拠…………… (10)
- 2 外国で殺人を教唆した日本人、及び同教唆によって当該外国で殺人を行った外国人に対して、我が国の刑法を適用することの可否…………… (11)
- 3 我が国に居住する外国人が、外国において日本人と共同して人を傷害した場合に、我が国の刑法を適用することの可否…………… (13)

## 3 公務員・公務所及び電磁的記録の定義

〔事例〕 1 警察署の嘱託医師は、公務員か……………	(15)
2 いわゆるJR職員は、刑法上の公務員に当たるか……………	(16)
3 国勢調査票の記入方法について説明に訪れた調査員は、公務執行妨害罪の客体となるか……………	(17)
4 少年補導中の少年指導委員は、公務執行妨害罪の客体となるか……………	(19)
5 指定自動車教習所の技能検定員は、公務執行妨害罪の客体となるか……………	(20)
6 郵便配達中のアルバイト配達員は、公務執行妨害罪の客体となるか……………	(22)
7 いわゆるみなす公務員の規定に、「罰則の適用について」という文言がある場合とない場合の刑法適用上の差異……………	(24)
〔参考〕 主要「みなす公務員」一覧表	
4 他の法令の罪に対する適用	
〔事例〕 法人（株式会社）が解散し清算手続中のとき、両罰規定により処罰できるか……………	(37)

## 第2章 刑

### 1 刑の種類

〔事例〕 科料と過料の相違……………	(38)
--------------------	------

### 2 没収・追徴

〔事例〕 1 脅迫文を書くときに用いた筆は、没収対象物か……………	(39)
2 電柱にはられたビラ及びハケ等の用具、未使用のビラは、それぞれ没収対象物か……………	(40)
3 盗んだ現金で買った品物は、没収対象物か……………	(42)
4 暴行の際、偶然に傷害用具として役立った物は、没収対象物となるか……………	(43)
5 犯行に使用するために用意された物につき、そのうちの一部分が犯行に使用された場合、未使用の物は、没	

収対象物に当たるか……………	(44)
6 証拠品として差し押さえた現金の中に没収対象物以外の現金がある場合の付加刑……………	(46)
7 追徴金の多額について……………	(48)
3 未決勾留の通算	
〔事例〕 1 未決勾留期間を刑期に算入することの要否……………	(49)
2 裁定通算の対象となる未決勾留日数の起算日と最終日……………	(51)

## 第3章 期間計算

### 受刑等の初日及び釈放

〔事例〕 刑期が満了した場合の釈放の時期……………	(54)
---------------------------	------

## 第4章 刑の執行猶予

### 1 執行猶予

〔事例〕 法定刑の下限が無期禁錮以上の罪に執行猶予の言渡しができない理由……………	(56)
---	------

### 2 執行猶予の必要的取消し

〔事例〕 執行猶予期間内の犯罪と執行猶予の取消し……………	(57)
-------------------------------	------

### 3 執行猶予の裁量的取消し

〔事例〕 1 刑の執行猶予の言渡しを取り消される場合……………	(59)
2 保護観察に付された刑の執行猶予者が、その保護観察の期間中に再び犯罪行為を犯して有罪判決を言い渡され、上訴している場合であっても、その執行猶予が取り消されることがあるか……………	(61)

## 第6章 刑の時効及び刑の消滅

### 1 刑の消滅

〔事例〕 刑の消滅の効力が進行中に他罪で懲役刑に処せられた場合、刑の消滅の起算点はいつか……………	(63)
---	------

## 第7章 犯罪の不成立及び刑の減免

1 正当行為	
〔事例〕1 刑法第35条後段の意義	(64)
2 私人が現行犯人を逮捕する際、無関係な第三者に誤ってけがを負わせた場合における過失傷害罪の成否	(64)
3 子供に対する親権者の懲戒権の行使と傷害罪の成否	(67)
4 犯行後に被害者が横領犯人を許した場合における横領罪の成否	(69)
5 保険金をだまし取ることを知人と共謀し、当該知人が運転する自動車に自車を故意に追突させ、同人に傷害を負わせた場合における傷害罪の成否	(70)
2 正当防衛	
〔事例〕1 けんかと正当防衛	(72)
2 暴力団の仕返しと正当防衛の成否	(73)
3 緊急避難	
〔事例〕1 火災による被害を避けるため隣家の植木を故意に損壊した者の刑責	(74)
2 急病人を病院へ搬送するため、無免許で車を運転する行為と緊急避難	(75)
4 故意・過失	
〔事例〕1 Aを殺害する目的でけん銃を発砲したところ、弾丸がAを貫通して予期しなかったBにも命中し、Bを死亡させた場合の刑責	(78)
2 駅の階段直近において暴行を加えたところ、相手方が階段から転落し、予期せぬ第三者に傷害を負わせた場合における行為者の刑責	(79)
3 逮捕を免れようとして暴行を加えた結果、予想外の第三者を負傷させた窃盗犯人の刑責	(81)
4 傷害を共謀した共犯者のうちの一人が殺人罪を犯し	

た場合、他の共犯者に対する適用罪名	(84)
5 所持禁止罪の法定刑に軽重がある場合、重い罪に該当する所持禁止物件を軽い罪に該当するものと誤信して所持していた場合の適用罪名	(86)
6 占有離脱物横領の意思で持ち去った自転車が、実は他人が一時的に置いたものであった場合の刑責	(88)
7 家族が不在中の家屋に対する放火を教唆したところ、被教唆者が誤って第三者の空き家に放火した場合における教唆者及び被教唆者の刑責	(90)
8 電柱等にポスターをはり付ける行為は、罪にならないと誤信していた場合における軽犯罪法第1条33号(はり札等)違反の罪の成否	(92)
6 自首・首服	
〔事例〕1 交通事故の報告者を自首扱いとすべきか	(95)
2 犯人の発覚の程度と自首の成否	(97)
3 犯人のおおよその年齢と身長のみが捜査官に判明している場合における犯人の出頭と自首扱いの要否	(100)
4 逮捕勾留中に被疑者が捜査官の把握していない犯罪を自供した場合における自首の成否	(100)
5 被疑者が行った共犯者名についての供述内容が、その共犯の自首の成否に与える影響	(102)
6 郵便局員が郵政監察官に犯罪事実を申告した場合における自首の成否	(104)
7 他人を介して捜査機関に犯罪事実を申告した者が、その直後自殺を図った場合における自首の成否	(105)
8 覚せい剤取締法違反(使用)の犯人が、警ら中の警察官の姿を見たところ犯人が発覚し逮捕されるものと錯覚して犯行を申告した場合における自首の成否	(106)
9 交通人身事故を起こし、同乗者を身代わり犯人として検挙を免れた者が、後日、自己が真犯人であること	

を申告した場合における自首の成否	(107)
10 速度違反で検挙された際、取締りを受けた者が、その後、知人に成り済まして警察署に出頭して真実を申告した場合における自首の成否	(109)
11 強盗未遂行為を行ったにもかかわらず、住居侵入及び窃盗未遂を犯したかのように捜査機関に申告した場合における自首の成否	(110)
12 故意に自動車で人をひき殺した後、過失による交通事故を装って警察官に申告をした場合における自首の成否	(113)
13 容疑者の一人として浮上していた者が警察署へ出頭して犯行を自供した場合における自首の成否	(115)
14 自己が犯人である旨を他人を介して申告した者が、1週間後に警察署へ出頭した場合における自首の成否	(117)
15 傷害犯人が他人を介して自己の犯行を被害者に告知した場合における首服又は自首の成否	(118)
16 捜査機関に認知された犯人が無人の交番へ出頭していた場合における自首の成否	(120)

## 第8章 未遂罪

### 未遂罪

〔事例〕1 窃取した洋服引換券を提示し、購入者に成り済まして洋服を受領しようとしたが、既に購入者が受領した後であった場合の詐欺未遂罪の成否	(122)
2 無差別に人を殺害するつもりで、農薬入りジュースを公衆電話ボックスの中に置いた者の刑責	(124)
3 すりの当たり行為と窃盗の着手時期	(125)
4 窃盗目的で倉庫へ侵入するために扉の錠を破壊中のところを警備員に発見されたため、同人を脅迫して逃走した者の刑責	(126)

5 自動車内のカメラを窃取する目的で三角窓を壊して手を差し入れ、ドアを開けようとしていた者の刑責	(127)
6 乗用車を窃取しようとしたが、プラグコードが抜いてあったため、エンジンがかからなかった場合における窃盗未遂罪の成否	(129)
7 恐喝目的で郵送した脅迫文書が配達中に盗まれた場合の恐喝罪の着手時期	(132)
8 万引きした物をその直後に発見された場合、窃盗の未遂か既遂か	(134)
9 被害者が捨てるつもりで所持していた広告用パンフレット在中の封筒を、現金が入っているものと思ってハンドバッグの中から抜き取った者の刑責	(134)
10 主に犯行の発覚を恐れ、従として憐憫の情から犯行を中止した場合、中止未遂か障害未遂か	(136)
11 被害者の詐言により錯誤に陥ったため、犯行を遂げなかった場合の中止犯の成否	(138)
12 窃盗の共謀者中の中止者に対する中止未遂規定の適用の可否	(140)

## 第9章 併合罪

### 1 併合罪

〔事例〕1 傷害を加える目的で人を監禁し、傷害を負わせた場合の罪数	(143)
2 けん銃と共に一括所持していた適合実包を途中から分割して所持した場合の罪数	(144)
3 恐喝罪と軽犯罪法違反（凶器携帯）の罪との罪数関係	(146)
4 一人が敢行した傷害に引き続き、相手方を数人共同して脅迫した場合の刑責	(148)
5 同一場所・同一機会に行われた数名による複数の被	

被害者に対する強盗罪と強盗致傷罪の罪数……………	(150)
6 現金喝取後、同一被害者を更に恐喝した場合にお ける恐喝罪の罪数関係……………	(152)
2 包括一罪	
〔事例〕1 強姦に着手したが、途中でこれを断念して強制わい せつに転じた場合の罪数……………	(154)
2 同一機会においてなされた恐喝行為と強盗行為の罪 数関係……………	(155)
3 数回にわたる窃盗の単独犯行を行った後、新たに共 犯者を加えた場合における連続的犯行の罪数関係……………	(156)
4 2週間の間に前後4回にわたり偽造商品券を同一の 金券ショップで換金した場合における詐欺罪の罪数……………	(158)
3 観念的競合・牽連犯	
〔事例〕1 人家に侵入した上、家人をおびき寄せる目的で家財 を破壊した場合における住居侵入罪と器物損壊罪との 罪数関係……………	(161)
2 庁舎警備中の警察官の頭上を目掛けて物を投げ付け、 入口ドアのガラスを損壊した場合における公務執行妨 害罪と器物損壊罪の罪数関係……………	(164)
3 交通違反取締り中の警察官を殴り、けがをさせた場 合の処断刑の範囲……………	(165)
4 1個の幫助行為により正犯者が併合罪関係に立つ数 罪を犯した場合における幫助者の罪数関係……………	(167)
5 窃盗の目的で独身女性のアパート居室に侵入した直 後、その目的を放棄し、新たに生じた犯意に基づいて 居住者を強姦した者の刑責と罪数関係……………	(168)
6 窃盗罪と郵便法第77条（郵便物を開く等の罪）違反 の罪との罪数関係……………	(170)
7 窃盗の目的でスポーツクラブに侵入し、女性用サウ ナ室の脱衣場をのぞき見した場合における建造物侵入	

罪と軽犯罪法違反（窃視）の罪との罪数関係……………	(170)
8 牽連犯の中間に確定裁判が介在する場合の罪数関係……………	(171)

## 第10章 累犯

### 再犯

〔事例〕 執行猶予中の者が再び罪を犯した場合、再犯者となる か……………	(173)
---	-------

## 第11章 共犯

### 1 共同正犯

〔事例〕1 事前の共謀なく窃盗犯人のため見張りをした者の刑 責……………	(175)
2 互いに姦淫行為に及ぶであろうことを認識している 二人が、同一の機会に別々の女性を強姦した場合にお ける共同正犯の成否……………	(176)
3 現場共謀によって覚せい剤をだまし取った者の刑責……………	(178)
4 強盗の目的で傷害を負わせた直後、偶然通り掛かっ た仲間と共に財物を奪取した者らの刑責……………	(180)
5 他人が加えた暴行・脅迫によって婦女が抗拒不能の 状態に陥っていることの情を知りながら、同女を姦淫 した者の刑責……………	(182)
6 共謀者と実行者の間で直接謀議が行われなかった場 合における共謀共同正犯の成否……………	(184)
7 強盗犯人の一人が逮捕を免れようとしてけん銃を発 射し、追跡者に重傷を負わせた場合における行為者と 共犯者の刑責……………	(186)
8 窃盗を共謀して他人の住居に侵入したが、1名は窃 盗着手前に逃走し、他の1名が金品を窃取した場合に おける共同正犯の成否……………	(188)
9 窃盗を共謀して盗品の売却処分を担当した者の刑責……………	(190)

10 共謀の上、共同して被害者に暴行を加えた後、1名が難脱し他の1名が引き続き暴行を加えて被害者を死亡させた場合における両者の刑責……………	(192)
11 窃盗を共謀した2名が住居侵入行為に着手した後、1名が難脱し他の1名が窃盗行為に及んだ場合の両者の刑責……………	(193)
12 医師が、医師免許を有しないアルバイト医学生と共謀の上、当該医学生に医療行為をさせた場合の刑責……………	(195)
13 過失犯における共同正犯の成否……………	(197)
14 共謀共同教唆犯の成否及びこれが成立する場合における刑法第60条（共同正犯）の適用の有無……………	(199)
15 有料職業紹介事業の許可を受けた者が、無許可者と共謀して当該事業を行った場合の刑責……………	(200)
16 トルエン吸引の謀議はあったものの、購入実行の日時について共謀者間に錯誤があった場合における共謀共同正犯の成否……………	(203)
17 窃盗共謀者が目的物以外の現金を窃取して秘匿していた場合、これを知らない他の共謀者の刑責……………	(205)
2 教唆犯	
〔事例〕1 無免許運転を教唆した者の刑責……………	(208)
2 贈賄と収賄教唆の関係、及び収賄と贈賄教唆の関係……………	(208)
3 キャッシュカードを拾得した者に対し、磁気カード読取り装置を使用して暗証番号を教え、現金の払戻しをさせた者の刑責……………	(209)
4 被教唆者が教唆された場所と異なる同居の親族から盗んできた物を買取った場合における教唆者の刑責……………	(212)
5 窃盗を教唆したところ、被教唆者が他家へ侵入して強盗を行った場合の教唆者の刑責……………	(214)
6 強盗の教唆された者が窃盗を実行した場合における教唆者の刑責……………	(215)

7 暴行を教唆した後、幫助行為をも行った結果、実行行為者が傷害の結果を発生させた場合における教唆等を行った者の刑責……………	(216)
8 13歳の少年を唆してオートバイを盗ませた者の刑責……………	(218)
9 下級生を脅迫し、無理やり殴り合いをさせた者の刑責……………	(220)
10 間接教唆者を教唆した場合における教唆罪の成否……………	(223)
11 教唆者が犯行の中止を申し入れたにもかかわらず、被教唆者がこれを実行した場合における教唆罪の成否……………	(225)
12 法施行前の教唆行為によって、施行後に正犯者が実行行為に及んだ場合における教唆者の刑責……………	(226)
3 幫助犯（従犯）	
〔事例〕1 司法書士が、その情を知らずながら内容虚偽の株式会社設立登記書類を作成した場合の刑責……………	(229)
2 予備罪を幫助した者の刑責……………	(230)
3 賭博開張者に頼まれもしないのに勝手に賭客を賭場に誘導した上、ビールをつぐなどの接待をした者は、賭博開張図利幫助罪の刑責を負うか……………	(232)
4 既に暴行の決意をしているとは知らずに暴行の実行を教唆したところ、その者が犯意を強固にして暴行を実行し、相手方に傷害を負わせた場合における教唆者の刑責……………	(234)
5 けんか中の友人に対する声援は、傷害助勢罪が傷害罪の幫助犯か……………	(235)
6 万引きを現認していながら黙認したスーパーマーケット警備員の刑責……………	(236)
7 窃盗の実行を決意した者の依頼に応じて、窃取行為に先行して盗品の売却を周旋した者の刑責……………	(237)
8 正犯者がだれであるかを認識せずに幫助行為を行った場合における幫助罪の成否……………	(239)
9 預かっているけん銃が、強盗の凶器として使用され	

ることを未必的に認識しながら返還した者の刑責……………	(241)
10 犯行場所の提供を約束したが、正犯が当該場所以外 の場所で犯罪を敢行した場合の幫助罪の成否……………	(243)
11 幫助行為の実行を共謀しながら実際には幫助行為を 行わなかった者の刑責……………	(245)
4 教唆及び幫助の処罰の制限	
〔事例〕 ビラはりを教唆したところ、被教唆者が自らは実行せ ず、更に第三者を教唆して実行させた場合における教唆 者それぞれの刑責……………	(247)
5 身分犯の共犯	
〔事例〕 1 女性は強姦の共同正犯となり得るか……………	(249)
2 業務上横領行為を共謀した非身分者の刑責……………	(249)
3 非常習者の賭博行為を幫助した賭博常習者の刑責……………	(251)

## 第2編 罪

### 第5章 公務の執行を妨害する罪

#### 1 公務執行妨害罪・職務強要罪

〔事例〕 1 交番において休憩中の警察官に対する公務執行妨害 罪の成否……………	(253)
2 車両に乗車中の不審者に対して職務質問を行うため 退路を遮断する目的で駐車したパトカーに対して、自 車を衝突させて逃走しようとした者の刑責……………	(254)
3 捜索・差押えを実施しようとした警察官から室外へ 出ることを止められたことに腹を立て、警察官を殴打 した者の刑責……………	(257)
4 後方から追跡して来たパトカーから逃れるため、急 に進路変更をして自己の車を接触させ、パトカーの乗 務員に傷害を負わせた者の刑責……………	(260)

5 単に自己の恨みを晴らす目的で暴行を加えた場合に おける公務執行妨害罪の成否……………	(262)
6 緊急逮捕に伴い、逮捕状を示さない逮捕は違法と誤 信した被疑者が警察官に暴行を加えた場合の刑責……………	(263)
7 呼気検査済みの検知管を警察官の面前で床に投げ付 けて損壊した場合における公務執行妨害罪の成否……………	(264)
8 職務質問中の警察官に対し、一見して真正なけん銃 に見えるモデルガンが無言のまま突き付けた者の刑責……………	(266)
9 警察手帳を携帯していない週休の警察官が、現行犯 人を逮捕する場合における公務執行妨害罪の成否……………	(269)
10 勤務時間外に管轄区域外で逮捕しようとする警察官 に対して、被疑者が暴行を加えた場合における公務執 行妨害罪の成否……………	(271)
11 自分で提出した始末書を警察官の手中から奪い取っ て破棄した者の刑責……………	(273)
12 捜索に立会い中の消防署職員に対して、暴行を加え た者の刑責……………	(274)
13 第三者を介して、違法駐車車両の取締りをやめるよ う警察官に強要した者の刑責……………	(276)
14 関税法違反の罪の現行犯人が逮捕者たる税関職員に 暴行を加えた場合における公務執行妨害罪の成否……………	(278)
2 封印等破棄罪	
〔事例〕 1 仮処分を受けた配電装置を、公示書の趣旨に反して 操作した者の刑責……………	(279)
2 水道料金を滞納したため水道局から給水を停止され た者が、水道の元栓を結束している針金を切って水道 の水を勝手に使用していた場合の刑責……………	(281)
3 民事執行法に基づき動産の差押処分を受け、現状の まま使用することを許可されてこれを使用保管中、当 該差押物を他の債権者に譲渡した者の刑責……………	(282)

## 3 強制執行妨害罪

- 〔事例〕1 強制執行を免れる目的で不動産の仮装譲渡を受けた者の刑責……………(284)
- 2 民事執行法に基づく差押えを免れる目的で、自社の表示板の上に架空会社の表示板をはり付けた者の刑責……………(286)
- 3 仮差押えの執行を受けた自己所有の店舗を損壊した者の刑責……………(287)
- 4 金銭債権者による仮差押えを無意味な保全処分にする目的で、自己所有の不動産に対する抵当権設定を仮装した者の刑責……………(289)

## 4 競売入札妨害罪

- 〔事例〕1 入札予定価額を内報した公務員とそれに基づき落札した業者の刑責……………(292)
- 2 下水道工事の競争入札に際し、特定業者が安い価格で落札することを協定したが、その目的を達せられなかった場合における競売入札妨害罪の成否……………(293)
- 3 入札後に、威力を用いて入札者に取下げを申し出させる行為と、当該取下げが法律上無効であった場合における競売入札妨害罪の成否……………(295)

## 第6章 逃走の罪

## 1 単純逃走罪

- 〔事例〕1 逃走罪は、継続犯か状態犯か……………(297)
- 2 鑑定留置に付されている者が逃走した場合、逃走罪の主体になり得るか……………(297)
- 3 勾留中の被疑者が係員のすきを見て逃走したが、直ちに追跡を受けて逮捕された場合の刑責……………(301)
- 4 勾留中の被疑者が係員のすきを見て手錠と捕縄を外し逃走した場合の刑責、及び発見・確保した場合における身柄の措置要領……………(303)

## 2 加重逃走罪

- 〔事例〕1 通常逮捕された後、逃走を図ろうとして逮捕警察官に暴行を加えた者の刑責……………(306)
- 2 収監状を執行された2名の者が共謀して逃走を企てた結果、うち1名が逃走に失敗した場合の両者の刑責……………(307)
- 3 緊急逮捕されて引致のため連行途中の被疑者が、連行警察官に体当たりをして逃走しようとした場合における加重逃走未遂罪の成否……………(309)
- 4 逃走目的で、留置場に接続して設けられた運動場の金網を切断した者の刑責……………(311)

## 3 被拘禁者奪取罪

- 〔事例〕1 強制入院中の麻薬中毒患者を奪取した者の刑責……………(313)
- 2 拘束命令が発せられた者を奪取した場合の刑責……………(314)
- 3 万引き犯人を現行犯逮捕した一般人に対し、詐言を用いて犯人を連れ去った者の刑責……………(315)

## 4 逃走援助・看守者等による逃走援助罪

- 〔事例〕1 私人に現行犯逮捕された被疑者の逃走を容易にする目的で、逮捕者に暴行を加えた者の刑責……………(317)
- 2 勾留中の被疑者と現行犯逮捕留置中の者が共謀して逃走した場合における両者の刑責……………(318)

## 第7章 犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪

## 1 犯人蔵匿・犯人隠避罪

- 〔事例〕1 自己の交通違反の身代わりを出頭させた者と身代わりとなった者の刑責……………(320)
- 2 少年院収容者は、法令により拘禁された者か……………(322)
- 3 収監状が発せられている者をかくまった者の刑責……………(323)
- 4 窃盗現行犯人を逮捕するため追跡中の一般人に足を引っ掛けて転倒させ、追跡を妨害した者の刑責……………(324)
- 5 仲間の免許証不携帯が発覚するのを防ぐため、自己

の自動車運転免許証を貸し与えて警察官に提示させた者の刑責	(325)
6 逃亡中の傷害犯人に頼まれて自己名義でホテルの宿泊予約を行い、同人を当該ホテルに宿泊させた者の刑責	(327)
7 後刻、加害者を恐喝する目的で警察官に対して虚偽の供述をした傷害被害者の刑責	(329)
8 傷害事件の発生を知った暴力団組員が、真犯人は同じ組の幹部であると誤信し、その者の身代わりとして自首した場合の刑責	(331)
9 犯人隠避罪の犯人から警察に自首することを相談され、これを強く説得して思いとどませた者の刑責	(332)
10 交通違反をして警察官に追われていると偽り、かくまってもらった公務執行妨害犯人と、これをかくまっただ者の刑責	(334)
11 窃盗事件を犯した夫の共犯者から頼まれて、夫を隠避した妻とその共犯者の刑責	(336)
12 共犯者らに逃走資金を与えて高飛びさせた者の刑責	(338)
13 指名手配中の傷害犯人を自宅にかくまったもの、張込み中の警察官に現認され、その目的を達することができなかった者の刑責	(339)
14 警察官に虚偽の供述をしてその旨を参考人供述調書に記載させた者の刑責	(341)
2 証拠隠滅罪	
〔事例〕1 窃盗犯人として私人に追及されている者から渡された品物が盗品かもしれないと思いながら、これを受け取って逃走した者の刑責	(344)
2 殺人の共犯者に対し、逮捕された場合は単独犯行である旨申し立てるよう命じた者と、これに基づき虚偽の供述をした者の刑責	(346)

3 自己の犯行を隠ぺいするため、窃取したオートバイの加工を依頼した者、及び情を知りながらこれを加工した者の刑責	(349)
4 警察に反感を抱いている者が、捜査を妨害する目的で面識のない傷害犯人が遺留したナイフを持ち去って川に投げ捨てた場合における証拠隠滅罪の成否	(350)
3 証人等威迫罪	
〔事例〕1 刑事事件の証人に対して、証言をやめさせようと威迫の行為をした者の刑責	(352)
2 傷害事件の目撃者を脅迫し、警察への110番通報を断念させた者の刑責	(354)
3 不起訴処分となった事件の被害者に対し、警察での供述を翻すように執ように申し向けた者の刑責	(356)

## 第9章 放火及び失火の罪

### 1 現住建造物等放火罪

〔事例〕1 離婚する旨を告げて妻が家を出て行った後、自宅に火を放って焼損した夫の刑責	(358)
2 保険金を詐取する目的で自己の家屋に放火したところ、たまたま在宅していた家人を焼死させた者の刑責	(359)
3 マンションの鋼鉄製エレベーター内にガソリンをまいて放火し、エレベーター天井部の蛍光灯を焼損させた者の刑責	(361)
4 マンションの自室に放火した場合における現住建造物等放火罪の成否	(363)

### 2 非現住建造物等放火・自己所有現住建造物等放火罪

〔事例〕1 駅の敷地内にある売店に火を放ち、同店舗と在庫商品を焼損した者の刑責	(365)
2 一人住まいの被害者を刃物で刺した上、既に死亡したものと誤信し、その家屋に放火して被害者を焼死さ	

せた強盗犯人の刑責	(366)
3 窃盗の目的で侵入した犯人が空き家に放火したところ、現に人が使用中の他の住宅に延焼した場合の刑責	(368)
4 工務店が建築資材を供給して建築中の店舗に火をつけて焼損させた建築依頼主の刑責	(370)
5 個人営業と変わらない株式会社の社長が、会社名義の事務所兼倉庫を焼損した場合における自己所有建造物等放火罪の成否	(372)
3 建造物等以外放火・自己所有建造物等以外放火罪	
〔事例〕1 不仲の者を驚かす目的で、その者が居住する家屋から約5メートル隔てて設けられているブロック塀の外に積み上げられたごみを焼損した者の刑責	(373)
2 他人所有のテントに放火した者の刑責	(376)
3 公共駐輪場に置いてあったオートバイの被覆シートに火をつけてオートバイ等を焼損させた者の刑責	(377)
5 放火予備罪	
〔事例〕卒業証書を脅し取るため、学校側の態度いかんによっては現実に火をつける意思で体育館内にガソリンを散布した者の刑責	(379)
6 消火妨害罪	
〔事例〕他人の住居に放火した犯人が、同一火災現場において消火妨害を行った場合における現住建造物等放火罪と消火妨害罪との罪数関係	(381)
7 建造物等失火・自己所有非現住建造物等失火罪	
〔事例〕1 幼児の火遊びが原因で火災が発生した場合における母親の刑責	(383)
2 家族の長期不在中、一人住まいをしている者が失火によって自宅を焼損した場合、当該家屋は現住建造物・非現住建造物のいずれに当たるか	(385)
8 激発物破裂・過失激発物破裂罪	

〔事例〕1 時限式の手製爆弾を破裂させて他人の現住家屋の一部を損壊した者の刑責	(387)
2 漏出したプロパンガスは、刑法第117条にいう激発物に含まれるか	(388)
9 業務上失火・重過失失火罪	
〔事例〕1 失火罪か重過失失火罪か	(390)
2 火気を使用してラーメン等を調理販売中、過失により自己の屋台を全焼させた者の刑責	(391)
3 ガソリンを灯油と誤って販売した結果、購入者の点火行為によりその店舗が炎上した場合におけるガソリン販売者の刑責	(394)
4 出火を発見して消火活動を行ったが、不十分な消火であったため再び燃え上がり会社建物を半焼させた守衛の刑責	(395)
5 漏出したプロパンガスを誤って爆発させたことにより、アパートを全焼させた者の刑責	(397)
10 ガス漏出等・同致死傷罪	
〔事例〕驚かす目的でプロパンガスを漏出させた者の刑責	(400)

## 第11章 往来を妨害する罪

1 往来妨害・往来妨害致死（傷）罪	
〔事例〕1 道路上にオイルを流して走行するバイクを転倒させ、運転者に傷害を負わせた者の刑責	(402)
2 首都高速道路上にガソリン40リットルを散布した上、これに点火して交通を妨害した者の刑責	(404)
3 自己所有の私道に鉄パイプを打ち込んで車両の通行を不可能にした者の刑責	(405)
2 電気車往来危険・艦船往来危険罪	
〔事例〕1 電車の走行を妨害する目的で引込線の線路上に石塊を置いたが、その目的を果たせなかった者の刑責	(407)

- 2 鉄道の線路上に放置自転車を投棄した者らの刑責……………(409)
- 3 過失往来妨害・業務上過失往来妨害罪
- 〔事例〕1 自動車をガードに衝突させ、レールを移動させた場合における業務上過失往来妨害罪の成否……………(412)
- 2 自転車の運転を誤って踏切内で脱輪し、接近中の電車を急停車させた自動車運転者の刑責……………(413)
- 3 踏切内で脱輪し、危険防止の措置を講じたが、結果的に電車と衝突した場合における車両運転者の刑責……………(415)

## 第12章 住居を侵す罪

### 住居侵入・不退去罪

- 〔事例〕1 交番の休憩室は刑法第130条にいう「住居」か「建造物」か……………(417)
- 2 警察署の最上階が独身寮となっている建物の囲繞地いにようちに侵入しようとした者の刑責……………(418)
- 3 クラブハウスがある広大な敷地内の一角のテニスコート内に金網フェンスを乗り越えて侵入した場合における建造物侵入罪の成否……………(420)
- 4 警察官の職務質問を免れるため、小学校の校庭に自転車で逃げ込み、校内を疾走して逃走した者の刑責……………(422)
- 5 会社の事務所に侵入し、通話料金の半額が自己の口座に振り込まれるダイヤルQ<sup>2</sup>に電話した者の刑責……………(424)
- 6 窃盗目的で、別居中の父親宅に侵入した場合における住居侵入罪の成否……………(425)
- 7 賃貸借契約の解約後、部屋を明け渡させる目的で、借家人の不在中にその居室に無断で入ったアパート経営者の刑責……………(427)
- 8 登山用具を利用して超高層ビルの外壁を登った者の刑責……………(429)
- 9 相手の錯誤を利用し、強盗の目的で住居に入った場

- 合における住居侵入罪の成否……………(430)
- 10 住居立入りについて夫婦のうち的一方からだけ承諾を得られる場合、他方に対する関係で住居侵入罪は成立するか……………(432)
- 11 他家の室内を窓越しにのぞき見するため、ブロック塀によじ登ってその上に立った場合、住居侵入罪は既遂か未遂か……………(434)
- 12 借金の取立てと不退去罪の成否……………(435)
- 13 いわゆるピンクビラを配布する目的でマンション内の廊下に立ち入った者の刑責……………(436)
- 14 融資の条件として、形だけとの約束で交わした賃貸借契約に基づき、当該建物に侵入した者の刑責……………(437)
- 15 従業員のすきを見て、カプセルホテルの空き室に入り込み、宿泊しようとした者の刑責……………(439)

## 第13章 秘密を侵す罪

### 1 信書開封罪

- 〔事例〕1 はがきの通信内容を他人に知らしめないために、差出人が該当内容の上からはったシールを無断ではがした者の刑責……………(441)
- 2 他人あての手紙を無断で開封して閲読した後、その手紙を焼却した者の刑責……………(443)
- 3 他人あての遺言状を開封し、内容を変更した者の刑責……………(444)

### 2 秘密漏示罪

- 〔事例〕1 秘密漏示罪と公立病院に対する捜査関係事項照会との関係……………(446)
- 2 会社が倒産ひんに瀕している事実及び社長の私生活上の事実を架空人名義で同社の取引先に知らせた元顧問弁護士ひんの刑責……………(448)

## 第15章 飲料水に関する罪

## 1 浄水汚染罪

〔事例〕 飲食店に対する嫌がらせ目的で、テーブル上の水差し内の水に青インクを入れた者の刑責……………(451)

## 2 水道毒物等混入・同致死罪

〔事例〕 沢水を引いた浄水溜たらいに人糞ふんを投げ込んだ者の刑責……………(453)

## 3 水道損壊・閉塞罪

〔事例〕 アパート居住者を立ち退かせる目的で揚水ポンプのモーターを損壊し、水道を断水させた家主の刑責……………(455)

## 第16章 通貨偽造の罪

## 1 通貨偽造・同行使罪

〔事例〕 1 通貨偽造罪にいう「通用する貨幣、紙幣又は銀行券」にはどのようなものがあるか……………(457)

2 真正な5千円札を二片に切断し、うち一片を二つ折りにして行使した場合における通貨偽・変造罪の成否……………(461)

3 一見、本物と見誤る50銭及び10銭硬貨様の物を偽造した者の刑責……………(463)

4 真正な100円硬貨を表と裏とに切断し、その切断面に100円硬貨と同じ大きさ、厚さになるようにニッケル板をはり付けた者の刑責……………(464)

5 釣り銭をだまし取る目的で1万円札を電子複写機でカラーコピーし、これを使ってタクシー乗車料金を支払った者の刑責……………(466)

6 偽造通貨行使罪と窃盗罪の罪数関係……………(469)

7 行使の目的なく偽造された1万円札を譲り受けた者が、行使した場合における偽造者及び行使者の刑責……………(471)

## 2 外国通貨偽造・同行使罪

〔事例〕 1 海外旅行の際に使用する目的で、T王国において流

通する同国政府発行の紙幣を偽造した者の刑責……………(474)

2 外国で偽造された外国紙幣を日本国内に持ち込んだ者の刑責……………(476)

## 3 偽造通貨等取得罪

〔事例〕 偽造の1万円札であることを確認した上、これを行使する目的で拾得し、商品購入代金の支払に充当した者の刑責……………(478)

## 4 偽造通貨取得後知情行使罪

〔事例〕 偽造米ドル紙幣を両替しようとした場合における偽造通貨取得後知情行使罪の成否と、同罪についての逮捕・勾留が制限される罰金額の運用……………(480)

## 第17章 文書偽造の罪

## 1 有(無)印公文書偽造・同行使罪

〔事例〕 1 実在しない警察署長名義の文書は、公文書か……………(483)

2 警察署長名を冒用して作成した立入禁止の立札を自己の所有地に立てた者の刑責……………(484)

3 盗んだ国民健康保険被保険者証の被保険者氏名等欄に架空の氏名等を書き加えた上、これを身分証明書として提示して盗品を入質した者の刑責……………(486)

4 在留期間を経過した自己のパスポートに他人が偽造した在留期間更新許可スタンプを押し、これを完成させた者の刑責……………(488)

5 都税事務所備付けの固定資産課税台帳(土地台帳)の所有者欄を書き換えた者の刑責……………(490)

6 サラ金会社に融資の申込みをする際、返済の催促を一時的に免れる目的で自己の自動車運転免許証裏面の備考欄に虚偽の住所を記載した上、住所変更をしたかのように装って提示することにより現金を借り受けた者の刑責……………(492)

7 有効期限が切れた他人名義の運転免許証に自己の写真をはり、これを警察官に提示した者の刑責	(495)
8 交通切符甲表の交付を受けた者が、勝手に免許証保管証欄に所要事項を記入して改ざんした場合の刑責	(497)
9 行使の目的で、土地登記簿謄本を電子複写機でコピーして改ざんを施した上、更にコピーした者の刑責	(498)
10 東京都公安委員会発行の駐車禁止・時間制限駐車区間規制除外車両ステッカーをカラー写真コピーして、これを駐車時に自車のダッシュボードに置いた者の刑責	(500)
2 虚偽有（無）印公文書作成・同行使罪	
〔事例〕1 国立病院の医師に依頼して内容虚偽の診断書を作成させた上、これを検察官に提出した者と、医師の刑責	(502)
2 職務質問された際、偽造した自動車運転免許証を提示した場合における偽造公文書行使罪の成否	(505)
3 公正証書原本不実記載・免状等不実記載・同行使罪	
〔事例〕1 公正証書原本等に当たるものと、当たらないもの	(507)
2 内容虚偽の定款を作成して会社を設立した者の刑責	(509)
3 偽造書類により登記簿に記載された事実が、現実の権利法律関係に合致する場合における公正証書原本不実記載罪・同行使罪の成否	(511)
4 自己の倒産を予見し、現有財産を保全するため、協議離婚届を役所に提出して離婚を仮装した者の刑責	(514)
5 選挙権を取得するため、知人の住居地に転居したと偽って住民登録し、住民基本台帳ファイル上に不実の記録をさせた者の刑責	(515)
6 不動産売買において中間省略登記をなした場合における公正証書原本不実記載罪の成否	(517)
7 運転免許証の更新手続きを受ける際、元住所の所在地を免許証の住所欄に記載させた者の刑責	(519)

8 他人の名義を使って旅券の発給申請を行ったが、交付される前に発覚した場合における申請者の刑責	(521)
9 他人の名義を冒用して風俗営業許可申請を行い、他人名義の許可証を取得した者の刑責	(522)
10 窃取した自動車に偽造した自動車検査証を備え付けて運行の用に供した場合における偽造公文書行使罪の成否	(524)
11 虚偽の金銭消費貸借契約公正証書の正本を示し、現金をだまし取った者の刑責	(526)
4 有（無）印私文書偽造・変造・同行使罪	
〔事例〕1 「有印文書偽造罪」と「無印文書偽造罪」との差異	(528)
2 著名人の名前を無断で使って広告文を印刷し、配布した者の刑責	(529)
3 他人名義の白紙委任状を勝手に作成した者の刑責	(531)
4 語学検定試験を替え玉受験し、依頼者の受験番号及び解答をマークシート式で記入して提出した者と、その依頼者の刑責	(532)
5 外国において、外国政府発行の他人名義のパスポートの写真を自己の写真とはり替えた上、それを行使した日本人の刑責	(536)
6 東京都知事の名前を勝手に使って弔電を打った者の刑責	(538)
7 借用証書の保証人欄に「連帯」という文字を書き加えて行使した者の刑責	(540)
8 借用証書の作成名義人と返済期限を改ざんした上、被借用者の子供に対してこれを提示した者の刑責	(542)
9 意趣返しのために、他人の氏名・住所を記載した封筒に誹謗文を入れて郵送した者の刑責	(544)
10 自己名義の健康保険組合員証の生年月日を改ざんし、これを第三者に提示した者の刑責	(546)

11	クレジット・カードの署名欄及び会員名欄を改ざんした者の刑責	(549)
12	偽造小切手に架空人名義で裏書をした上、支払銀行に提示した者の刑責	(550)
13	遊技機製造業者協同組合名義の封印用シールを偽造し、これを貼付した遊技機を遊技店に設置した遊技機製造業者らの刑責	(553)
14	警察官に虚構の被害を申し立てて内容虚偽の被害届を代書させた上、これに架空人の名前を署名した者の刑責	(556)
15	代理権を有しない者が、代理資格を冒用して借用証書を作成した場合における私文書偽造罪の成否	(557)
16	金融会社の無人コーナーにおいて偽造文書を作成した上、これをイメージスキャナーでプリントアウトさせた者の刑責	(558)
17	他人名義の領収書に記載されている金額だけをほしのままに改ざんした者の刑責	(561)
18	ぱちんこ店が自動玉数計算機によって客に交付する景品交換券を偽造した者の刑責	(563)
5	虚偽診断書・虚偽検案書・虚偽死亡証書作成・同行使罪	
[事例] 1	自ら診察しないで公務所へ提出すべき診断書を作成、交付した医師の刑責	(565)
2	患者から請われるままに、保険会社に提出されるものと信じて虚偽の診断書を作成した医師と、当該診断書を警察署に提出した患者の刑責	(567)
3	医師に虚偽の検案書を作成させ、変死者の密葬を企てた者の刑責	(569)
6	電磁的記録不正作出・同供用罪	
[事例] 1	他人の預金口座に関するデータを印磁した磁気テープをプラスチック板に貼付して、これを現金自動支払	

機(CD)に使用し現金を領得した者の刑責	(570)
2 外れ馬券の磁気テープ部分を改ざんして現金自動払戻機から現金を領得した者の刑責	(573)

## 第18章 有価証券偽造の罪

有価証券偽(変)造・有価証券虚偽記入・同行使罪

[事例] 1	行使の目的で偽造された「商品お取替券」は、有価証券偽造罪の客体に当たるか	(576)
[参考]	「有価証券」に該当するものと、該当しないもの	
2	増資新株式申込証拠金領収書を変造した者の刑責	(579)
3	米国人が自国内で自国旅行会社発行名義のドル建て旅行者小切手を偽造し、それを日本国内に持ち込んで行使した場合の刑責	(581)
4	架空名義を用いて約束手形を振り出した者の刑責	(583)
5	だまし取った「見せ手形」の白地金額欄にほしのまま金額を書き込んだ者の刑責	(583)
6	会社の用途以外の目的に充てるため、会社代表者名義の小切手を振り出した経理課長の刑責	(586)
7	窃取した振出日欄白地の小切手の支払を得るため、振出日を勝手に記入した者の刑責	(588)
8	為替手形の引受人欄に勝手に他人名義の記名・押印を行った者の刑責	(590)
9	窃取した記名式小切手を換金するため、自己を被裏書人として当該小切手に裏書した窃盗犯人の刑責	(591)
10	約束手形の金額の改ざんは偽造か変造か	(593)
11	先日付小切手の振出日を改ざんした者の刑責	(594)
12	支払期日経過後、いまだ消滅時効が完成していない為替手形の支払期日の日付を改ざんした者の刑責	(596)
13	虚言を用いて金額未記入の約束手形裏書人欄に署名・押印させ、その後、約束以上の金額を記入し、これを	

振り出した者の刑責	(599)
14 小切手に振出日や金額及び振出人の氏名等を記入した後、振出人を欺いてなつ印してもらい、これを領得した場合における有価証券偽造罪の成否	(600)
15 約束手形の割引を容易にするため、手形の受取人欄及び裏書人欄に勝手に他人の氏名を記入した者の刑責	(603)
16 他人が偽造した手形に虚偽記入した者の刑責	(604)
17 偽造株券を処分屋に売却した株券偽造者の刑責	(606)
18 偽造の有価証券であることを知っている者に対し、当該証券を真正なものとして行使した場合、偽造有価証券行使罪は既遂か未遂か	(607)
19 手形偽造犯人のために約束手形用紙を印刷・交付した印刷業者の刑責	(609)

## 第19章 印章偽造の罪

### 1 公印偽造・同不正使用罪

〔事例〕1 自己の氏名に警察官の肩書を付けて名刺を作成した者が、その名刺を入れた財布を遺失したため、警察官に成り済まして当該財布を受領した場合の刑責 (611)

2 不正使用の目的で、「東京都人権擁護局」のゴム印を印鑑屋に作らせた者の刑責 (614)

### 2 公記号偽造・同不正使用罪

〔事例〕1 警察手帳の表紙を偽造した者の刑責 (616)

2 タクシー料金メーターの検定印は公記号といえるか (617)

3 50ccバイクに偽造したナンバープレートを取り付けて運転した者の刑責 (618)

〔参考〕 ナンバープレートを巡る犯罪一覧表

### 3 私印偽造・同不正使用罪

〔事例〕1 確定申告によって医療費控除を受けるため、治療費の領収証を偽造する目的で歯科医院のゴム印を印鑑屋

に作らせた者の刑責	(621)
2 実在しない新聞社の腕章を作成し、これを示して野球場に無料で入場した者の刑責	(623)
3 他人の氏名を冒用して被疑者供述書に署名した者の刑責	(624)
4 架空人の名刺を作成した上、これを利用して女子高校生をホテルに連れ込もうとした者の刑責	(626)
5 株主総会議事録の出席取締役確認署名(記名)・押印欄に、既に解任された取締役の名義を冒用して記名・押印した代表取締役の刑責	(628)

## 第20章 偽証の罪

### 偽証罪

〔事例〕1 公判廷において虚偽の陳述をした弁護士と、それを教唆した被告人の刑責 (631)

2 民事裁判の当事者尋問において宣誓をした当事者が、虚偽の陳述をした場合における偽証罪の成否 (633)

## 第21章 虚偽告訴の罪

### 虚偽告訴罪

〔事例〕1 上司を罪に陥れる目的で虚偽の犯罪事実のつもりで警察に申告したところ、たまたま、その内容が事実であった場合における虚偽告訴罪の成否 (634)

2 他人に刑事処分を受けさせる目的で警察に対して申告した事項の中に、虚偽の事項と真実の事項が併存している場合における虚偽告訴罪の成否 (636)

3 特定の警察官に関する事実無根の非行内容を警察署長あてに投書した者の刑責 (638)

4 対立候補者を選挙違反の罪に陥れるために同候補者の名刺・現金・投票依頼文書を同封した封書を署長公

舎あてに郵送した者の刑責	(639)
5 単に警察の取調べを受けさせる目的で、他人に係る 虚偽の犯罪事実を申告した者の刑責	(642)
6 責任無能力者をそれと知らずに虚偽告訴した場合に おける虚偽告訴罪の成否	(643)
<b>第22章 わいせつ、姦淫及び重婚の罪</b>	
1 公然わいせつ罪	
〔事例〕1 電車内で陰茎を露出して女性客の臀部に軽く押し付 けた者の刑責	(645)
2 会員制クラブにおいて全裸ショーをした者と、これ をさせたクラブ経営者の刑責	(647)
3 アパート自室において手淫をし、その姿態を外部に さらした者の刑責	(649)
2 わいせつ文書等頒布等罪	
〔事例〕1 わいせつビデオテープを複製し販売する目的で、そ の原本であるマスターテープを所持していた者の刑責	(650)
2 未現像のわいせつフィルムを所持している者の刑責	(652)
3 いわゆる裏ビデオテープを不特定多数の客に有料で 貸し出したレンタルビデオショップ店主の刑責	(653)
4 現金を徴収の上、客にカメラを貸与してわいせつ写 真を撮影させ、その写真を当該客に持ち帰らせた者の 刑責	(655)
5 客が持ち込んだいわゆるわいせつビデオテープを有 償でダビング（転写）したダビング業者の刑責	(657)
6 ダイアルQ <sup>2</sup> 番組を開設し、同番組の利用者に対し て、録音再生機によって再生したわいせつな音声を聞 かせた者の刑責	(658)
3 強制わいせつ罪	
〔事例〕1 性的満足を得る目的で男子小学生を連れ回した上、	

公衆便所内で自己の陰茎を握らせた者の刑責	(661)
2 7歳の女児のスカートの下から手を入れ、パンツの 上からおしりをなで回した者の刑責	(663)
3 強制わいせつの目的でスカートをめくり上げてパン ティストッキングを脱がそうとした者の刑責	(665)
4 女性を電車内の壁に押し付けて身動きできない状態 にして臀部をなで回した上、さらに、パンティに手を 掛けようとした者の刑責	(666)
4 強姦罪	
〔事例〕1 4歳の幼女に対する強姦罪は、不能犯か	(669)
2 姦淫目的で、アベックの男性を殴り付けた上、後ろ 手に緊縛したまま放置し、女性を車両で連れ去った者 の刑責	(670)
3 強姦しようとした際に被害者が差し出した現金を受 け取り、姦淫せずに逃走した者の刑責	(673)
4 強姦した数日後、暴行・脅迫を用いないで再び同女 を姦淫した者の刑責	(675)
5 準強制わいせつ・準強姦罪	
〔事例〕1 相手の不知に乗じて婦女の陰部に指を突っ込んだ者 の刑責	(677)
2 雇い入れたモデルに、自己の地位を利用してわいせ つな行為をした芸能プロダクション経営者の刑責	(678)
3 整骨医が、その立場を利用して治療中に患者の乳房 をもてあそんだ場合の刑責	(680)
4 12歳の精神薄弱な女児をして、卑わいな行為をさせ た者の刑責	(682)
5 姦淫する目的で女性に睡眠薬入りサイダーを飲ませ ようとした者の刑責	(685)
6 身体障害者を装い、排尿の世話と称して見ず知らず の女性に自己の陰茎を触らせた者の刑責	(686)

## 6 親告罪

- 〔事例〕1 強制わいせつ罪について告訴がない場合に、同罪の構成要件の暴行の事実だけにつき、これを暴行罪として送致できるか……………(688)
- 2 女性共犯者の1名が被害者の腕を押さえ付けている間に他の共犯者が姦淫した場合、その強姦罪は親告罪か非親告罪か……………(689)
- 3 実行現場に他の共犯者が現在しない場合、共同強姦の特例規定(刑180Ⅱ)が適用されるか……………(691)
- 4 泥酔させて強姦することを共謀した二人のうち一人が姦淫行為に及んだ場合、親告罪規定を適用することの可否……………(692)
- 5 親告罪を教唆したところ、正犯者が結果的加重犯である非親告罪を犯した場合における教唆者に対する告訴の要否……………(694)

## 7 強姦致死(傷)・強制わいせつ致死(傷)罪

- 〔事例〕1 強姦しようとしたところ、被害者がショック死した場合の刑責……………(696)
- 2 強制わいせつ・強姦未遂の機会に数個の傷害を与えたが、その原因が不明である場合における擬律……………(697)
- 3 強盗の目的で凶器を携帯して侵入したが、強盗を実行せず、財物窃取後に婦女を姦淫した場合の刑責……………(700)
- 4 女性を脅迫してわいせつ行為を行っていた際、同女から抵抗を受けたため、同女を殴り付けて傷害を負わせた者の刑責……………(702)

## 8 淫行勧誘罪

- 〔事例〕1 女子高校生(18歳)を勧誘し、姦淫させた者の刑責……………(704)
- 2 女性を欺いていわゆる裏ビデオに出演させ、相手男優と性交させた者の刑責……………(705)

## 9 重婚罪

- 〔事例〕1 協議離婚届を偽造してこれを区役所に提出した後、他の女性との婚姻届を提出した場合の重婚罪の成否……………(707)
- 2 独身と偽り結婚を約束して金員を交付させ、結婚式の数日後に姿をくらました者の刑責……………(710)
- 3 既婚の外国人が日本において重ねて婚姻した場合における重婚罪の成否……………(710)

## 第23章 賭博及び富くじに関する罪

## 1 賭博罪

- 〔事例〕1 1円玉を使用して花札遊技を行った場合の刑責……………(713)
- 2 ばちんこ遊技に金銭を賭けた場合と賭博罪の成否……………(714)
- 3 いわゆる「詐欺賭博」の相手方となった者について賭博罪が成立するか……………(715)

## 2 常習賭博・賭博開張凶利・博徒結合凶利罪

- 〔事例〕1 いわゆるゲーム機賭博に使用されることを知りながらポーカーゲーム機を販売した者の刑責……………(716)
- 2 常習性の認定について……………(718)
- 3 賭博開張凶利幫助罪の前科は、常習賭博罪における常習性認定の資料になり得るか……………(719)
- 4 単純賭博罪を教唆した賭博常習者の刑責……………(720)
- 5 賭博開張凶利罪の成否……………(721)
- 6 賭博開張者に賭場を提供した旅館経営者の刑責……………(722)

## 3 富くじ発売・富くじ取次・富くじ授受罪

- 〔事例〕1 暴力団員から金銭を徴し、いわゆる無<sup>も</sup>限<sup>げん</sup>類似行為をした者の刑責……………(723)
- 2 価格以上の食事券を発売して抽選を行った上、当選者に景品を出す行為と富くじ発売罪等の成否……………(724)
- 3 米国で州政府発行の公認富くじを購入した者が、国内でこれを不特定多数人に販売した場合におけるいわゆる富くじ罪の成否……………(725)

- 4 氏子総代が景品付きおみくじを発売した場合における富くじ発売罪の成否……………(727)

## 第24章 礼拝所及び墳墓に関する罪

### 1 礼拝所不敬罪・説教等妨害罪・墳墓発掘罪

- 〔事例〕1 深夜、寺院の境内に侵入し、他家の仏石を転倒させた上、ハンマーで門石及び法名塔等を損壊した場合における礼拝所不敬罪及び墳墓発掘罪の成否……………(729)
- 2 世間を騒がす目的で、墓地内の有名人の墓に立てられている卒塔婆と他の墓の卒塔婆を立て換えた場合における礼拝所不敬罪の成否……………(731)

### 2 死体等損壊罪・遺棄罪・領得罪

- 〔事例〕1 同居人を自室で殺害した後、死体を押入れ内に隠匿した者の刑責……………(733)
- 2 人の形体を備えた死胎を居住しているアパートの床下に埋めた上、供養していた場合における死体遺棄罪の成否……………(735)
- 3 山林内に埋めた殺害死体を1か月後に掘り起こし、切断した上、他の場所に埋め直した者の刑責……………(736)
- 4 他家の仏壇に安置されている遺骨を骨つぼごと不法に領得した者の刑責……………(738)
- 5 実弟の遺骨を飯場の押入れ内に放置して逃走した者の刑責……………(740)
- 6 葬祭義務者たる夫自身が自宅で妻を殺害し、死体をそのままにして行方をくらませた場合における死体遺棄罪の成否……………(742)

### 3 墳墓発掘死体損壊等罪

- 〔事例〕1 愛人の遺骨が埋葬されている墓からその遺骨の一部を持ち去った者の刑責……………(743)
- 2 死者の遺族から金員を脅し取る目的で遺骨を盗んだ後、その目的を達した者の刑責……………(744)

請求対象外

請求対象外

実務(32) 刑法〔上〕

---

平成9年1月14日 印刷発行

東京都千代田区霞が関2-1-1

編集兼 警視庁刑事部刑事総務課  
発行 者

電話 (03) 3581-4321

(内線 [REDACTED])

---

印刷所 [REDACTED]